

新型コロナウイルス感染症対応についての確認事項（石川工業高等専門学校）

1. 新型コロナウイルス感染症に対応して、教育課程の実施、授業の方法等について、学生の学習の質を維持するために行った取組の概要を確認したい。

回答欄	根拠資料・データ（提出は任意）
遠隔授業サポートチームを組織	C-1-01 「高専だより 遠隔授業」
授業資料を学生に郵送	
遠隔授業に関するアンケートを実施	
実験，演習等の集中講義を8月下旬に実施	
令和2年度補正予算により，遠隔授業の環境構築を実施	C-1-02_「令和2年度第10回教務委員会（非公表）」（P1～2）

2. 新型コロナウイルス感染症に対応して、学生の学習及び生活の支援について行った取組の概要を確認したい。

回答欄	根拠資料・データ（提出は任意）
遠隔HRを実施	C-2-01 「遠隔授業スケジュール」

3. 新型コロナウイルス感染症に対応して、寮における安全対応について行った取組の概要を確認したい。

回答欄	根拠資料・データ（提出は任意）
本校学生寮では、寮生の生活に関すること、当直業務に関すること、に分けて感染防止対策に取り組んでいる。寮生に関しては、居室の個室化，浴場利用時間の区分，食堂テーブルの間仕切り，夜の消毒換気活動，分散点呼方式の導入等がそれに該当する。当直に関しては、寮生による各種届出のメールボックス投函方式導入，寮内巡回の無期限中止（寮務委員会が代行）等で，寮生との接触機会を減らす工夫をしている。これらのことが理解しやすいように，寮生には学生ハンドブック（寮生活編），教員には当直業務ガイドラインを作成，配布している。	C-3-01_「新しい生活様式での寮生活ハンドブック（非公表）」 C-3-02_「教職員宿直業務ガイドライン（非公表）」

4. 新型コロナウイルス感染症に対応して、学生の課外活動について行った取組の概要を確認したい。

回答欄	根拠資料・データ（提出は任意）
課外活動や学生の学校活動を止めないために，「学校生活感染防止マニュアル」を作成し，学生全体が新型コロナへの対応を理解できるようにマニュアルを作成し，これに基づき活動を維持できるように務めた。	C-4-01 「学校生活感染防止マニュアル」
夏季休業期間など通常期以外の活動については，完全届出制とし，活動後に顧問から参加学生の健康状態を毎回報告するシステムとし，学生個々の衛生管理を徹底したうえで活動をできる限り継続するように努めた。	
	C-4-02_「令和3年度第5回教員会議資料（非公表）」（項目4，5）
	C-4-03 「春季休業中の課外活動について」

必要に応じて活動制限をかけ活動規模を縮小させ安全確保を図りながら活動を継続した。	C-4-04 「夏季休業中の課外活動・クラス活動等について」 C-4-05_「令和3年度第2回教員会議（臨時）資料（非公表）」
---	---

5. 新型コロナウイルス感染症への対応として、遠隔授業に関するFDの実施により、教育の質の向上や授業の改善に結び付いている事実があるか確認したい。

回答欄	根拠資料・データ（事実がある場合は提出してください）
オンライン形式での授業の方法の勉強会として、第5回FD研修会として、Teams の使い方を学ぶ研修会「DX推進のためのOffice365ツールハンズオンセミナー」を、2020年3月11日(水)に実施した。	C-5-01_「2019年度第5回FD委員会資料（非公表）」 C-5-02_「2019第5回FD研修会出欠表（非公表）」
5月より実施の遠隔授業にあたり、校長より任命される組織の、遠隔授業サポート委員が作られた。同委員主催の講習会として、Teams を使った遠隔授業の方法を学ぶ講習会「遠隔授業講習会」を、2020年4月16日(木)に実施した。	C-5-03 「遠隔授業講習会の案内メール」
上記の研修会・講習会・サポート委員によるサポート活動を踏まえて、2020年度前期（5月～7月）は、ほぼ全ての授業について、遠隔授業の形式で実施した。	C-5-04_「R2前期_遠隔授業時間割表（非公表）」
遠隔授業の教育の質の向上および授業の改善を目的のため、「教員による遠隔授業見学」を実施した。遠隔授業は全て録画をして、学生が自由に閲覧できる状態にしてあり、録画を視聴して、遠隔授業を視聴した感想を「授業見学報告書」に記入して、授業担当者に配付することにより、授業改善に役立てた。 また、遠隔授業についてのアンケートを実施して、「遠隔授業で勉強しやすかった科目」の設問において、多数の科目の回答があったことから、以上の遠隔授業に関するFDの実施は、教員および学生にとって、はじめての遠隔授業に大変な成果があったことが確認できる。	C-5-05 「遠隔授業下での授業見学実施要項」